

鳥を愛する 企業 ガイド

★ふだんのお買い物や知っている企業が、「鳥にとっていいこと」につながっていたらうれしい。そんな「鳥にいいこと」がある企業や商品をピックアップする不定期連載。

1 ここはペルーのコーヒーの森。渡り鳥たちの休息所だ

バードフレンドリー® コーヒー 住商フーズ株式会社

おいしいコーヒーの森を広めよう

一杯のコーヒーが、はるか遠くの渡り鳥の命をつなぐ。
そんな魔法のような仕組みがあるのを知っているだろうか？(編集部)

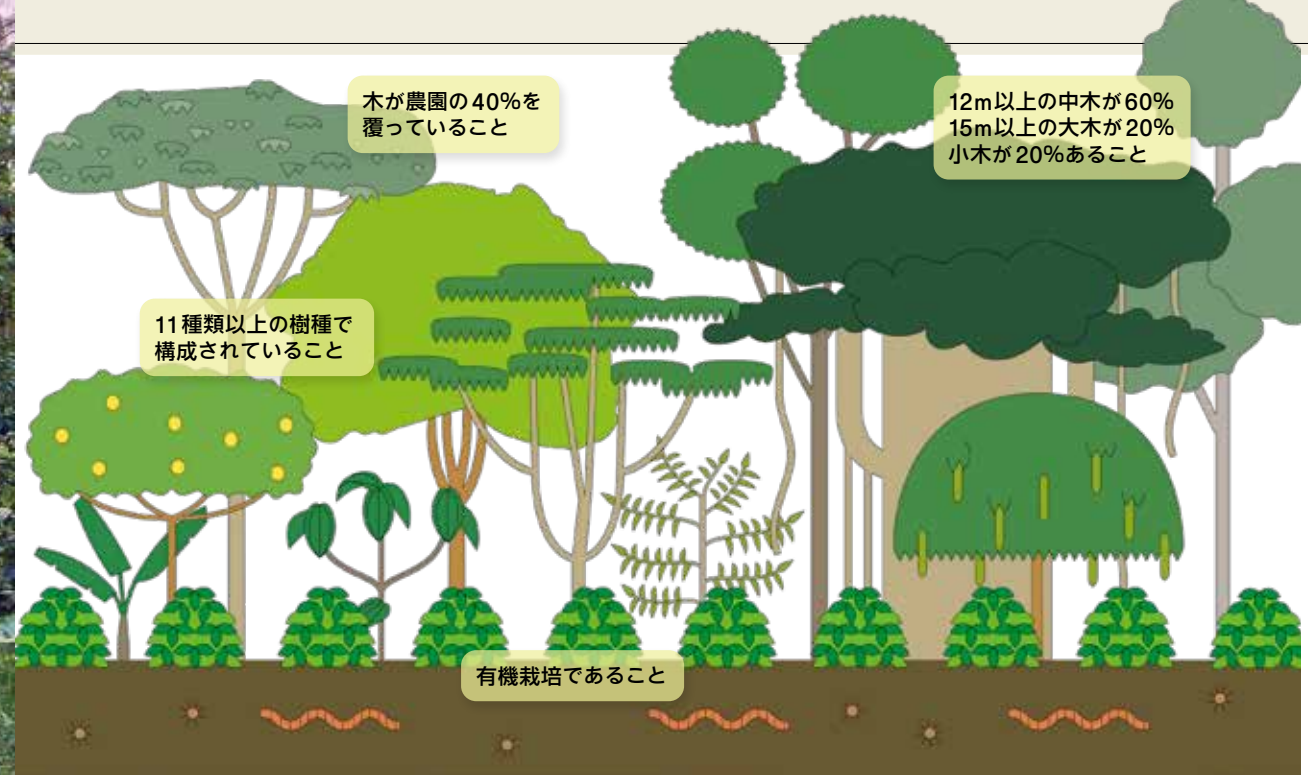
構成 ● BIRDER
協力 ● 住商フーズ株式会社

「渡り鳥の森」 で育つコーヒー

1980年代、アメリカ・スミソニアン協会の研究者たちは渡り鳥の個体数が減少している理由を解明するため中米を訪れた。そこで発見されたのは、「昔ながらの森の中で育つコーヒー農園」が、鳥たちの貴重な休息所になっているという事実だった。

この結果を踏まえてバードフレンドリー®認証プログラムが創設され、鳥にも農家にも自然にも優しいコーヒー栽培が行われている。熱帯の森林をそのまま利用する木陰栽培(シェードグロウン)かつ有機栽培の豆

をプレミアム価格で買い取ることで、農家の生活を支えながら森林伐採を防ぐ。まさに「おいしいコーヒーを飲むことが、鳥がすむ森を買い支える」という、魔法のような循環だ。認証農園には、自然林に近くなるよう基準で定められた割合の高木、中木、低木がある森が広がる。ドローン映像に映る農園は、まさに「深山幽谷」。視察を重ねる住商フーズの新沼さんは、「現地の農園主さんは、本当に鳥や自然を愛している方ばかり。環境に優しくおいしいコーヒーを作るためには手間も惜しみません」と、現地の情熱を語ってくれた。



3 認証農園になる基準。木陰で育つおいしいコーヒーになる秘けつでもある



2 日本のバードフレンドリー®コーヒー20周年ロゴ

住商フーズ株式会社

世界中の食の情報を収集・整理し、提案・提供する「World Food Curator」を掲げる専門商社。住友商事グループとして、安全で魅力的な食材・食品の「開発輸入」に強みをもつプロフェッショナル集団。



4 農園を訪れる鳥の一種、シロビタイアメリカムシクイ

おいしい自然保護を、 一杯のカップから

日本での展開は2025年で20周年。現在、日本は世界第2位の消費量を誇る。私たちがこのコーヒーを選ぶことで、マグカップ1杯(コーヒー粉10g)あたり約1円*が渡り鳥の森へと還元される仕組みだ。

手間暇かけて育った豆は、酸味が控えめで香りが高く、驚くほど味わい深い。「鳥のために」と選んだ一杯が、実は自分にとっても最高においしい。そんな「おいしい自然保護」を、明日の朝から始めてみてはいかがだろうか。コーヒー一杯でできる、いちばん身近な「鳥のために」なること。次回は「バード



5 エチオピアで撮影。現地は機械が入れないため、手作業で豆の選別をしている

フレンドリー®コーヒー」を実際に飲める、買えるお店や、個性豊かな銘柄を徹底ガイド!

※2026年
3月現在



6 認証農園の推し鳥ドリップバックコーヒー。6か国7農園のバードフレンドリー®認証農園に馴染みの深い渡り鳥を「推し鳥」にしたドリップバックコーヒー。非売品

バードフレンドリー®コーヒー 取り扱い企業、団体

- 小川珈琲株式会社
- カルディコーヒーファーム
- 日本野鳥の会
- 南蛮屋株式会社
- ハマヤ株式会社
- 8BIRDS COFFEE & ROASTERS

